

## 平成 28 年第 4 回三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 平成 28 年 4 月 26 日（火） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 58 分

○場 所 三浦市教育委員会教育委員室

### ○次 第

#### 1 開 会

#### 2 前回会議録の承認

#### 3 署名委員の指名 菊池 恵委員、 松尾恒廣委員

#### 4 教育長報告

(1)人事異動について

(2)小中学校入学式・始業式について

(3)関係団体の事業について

(4)今後の予定事業について

#### 5 報告事項

(1)市内中学校の生徒指導案件について

(2)平成 28 年 3 月の後援名義等使用について

(3)平成 28 年度奨学事業について

(4)三浦市教育研究所非常勤相談員の委嘱について

(5)三浦市立学校外国語指導助手の委嘱について

(6)三浦市社会教育委員充て職委員について

(7)三浦市スポーツ推進審議会委員充て職委員の決定について

#### 6 その他の事業について

(1)平成 28 年度事業計画について

(2)第 19 回「わんぱく相撲三浦場所」の開催について

(3)平成 28 年度三浦市社会教育講座「文学講座～文学に表現された三浦の地を巡る～」の開催について

(4)平成 27 年度三浦市社会教育講座について

#### 7 その他

#### 8 閉 会

○出席委員（５名）

|         |         |
|---------|---------|
| 教 育 長   | 三 壁 伸 雄 |
| 教育長職務代理 | 菊 池 惠   |
| 委 員     | 曾 根 崇 子 |
| 委 員     | 松 尾 恒 廣 |
| 委 員     | 下 里 矩 生 |

○説明のために出席した職員

|             |         |              |         |
|-------------|---------|--------------|---------|
| 教 育 部 長     | 大 西 太   | 教 育 総 務 課 長  | 増 井 直 樹 |
| 学 校 教 育 課 長 | 五十嵐 徹   | 学 校 給 食 課 長  | 松 下 彰 夫 |
| 文化スポーツ課長    | 堀 越 修 一 | 南下浦市民センター館長  | 小 川 史 郎 |
| 初声市民センター館長  | 見 上 正 行 | 青少年教育課長兼図書館長 | 安 藤 宜 尚 |

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー 長 島 正 紀

○傍 聴（０名）

○三壁教育長 それでは、ただいまより平成 28 年第 4 回三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、はじめに前回会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関するみなさまのご意見を頂戴したうえで、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについてご承認いただきたいと思います。

修正等のご意見があれば、ご発言をお願いします。

(発言等なし)

○三壁教育長 なければお諮りします。

前回会議録について、別添「平成 28 年第 3 回三浦市教育委員会定例会 会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについて、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○三壁教育長 ご異議ないようですので、前回の会議録についてそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に菊池委員と松尾委員を指名します。

○三壁教育長 続いて、次第 4 「教育長報告」について、私から何点か報告いたします。

平成 28 年度がスタートして 1 ヶ月が経とうとしています。教育委員会として執務場所が移転して初めての人事異動がありました。教職員については、校長 1 名、教頭 1 名が新たに着任されました。学校関係としては、4 月 5 日に始業式、入学式がありました。平成 28 年度の新入学児童は 282 名、中学校が 336 名でした。

小学校 8 校では 1,792 名、中学校 3 校では 1,021 名、合計で平成 28 年度は 2,813 名であり、昨年度より 77 名の減となっております。

次に関係団体等の事業ですが、4 月 13 日に剣崎小学校において全教職員を対象に教育研究会が開催されております。また、14 日には今年度第 1 回目の子ども会連絡協議会があり、今年度は市内に 28 団体となっています。なお、平成 25 年度は 48 団体、平成 26 年度は 43 団体、平成 27 年度は 33 団体でありました。4 月 21 日にはスポーツ推進委員連絡協議会、24 日は三浦半島少年野球大会が学童野球連盟の主催で潮風スポーツ公園の野球場で 27 チーム参加のもと開催されました。25 日には青少年指導員の委嘱式と連絡協議会がありました。青少年指導員については、教育委員会定例会でもご意見等いただいておりますが、定数 57 名のうち昨日は 54 名に対して委嘱をしました。

続いて、4、5 月これから行われるイベントについて報告いたします。

4 月 29 日には小村三千三先生の碑前祭が歌舞島会館で、5 月は、8 日にわんぱく相撲三浦場所が

若宮相撲場で、10日には三浦半島地区教育長協議会が横須賀市、逗子市、葉山町、三浦市の教育長及び部長以下、担当課長も出席し横須賀市で開催されます。

それから、13日に三浦市PTA連絡協議会総会が、14日には潮風アリーナで小学生を対象とした自転車マナーアップ大会が、警察が中心となって交通安全協会等関係団体の協力のもと行われます。ここで優勝、準優勝すると県大会へ出場となります。

また、4月19日には平成28年度重要事務事業市長ヒアリングが行われまして、教育総務課からは奨学事業、小学校教育環境適正化事業について、学校教育課は海洋教育推進等地域連携事業ですが、これは東京大学臨海実験所との関係でこれまで進めてきましたが、三浦らしい教育を一層推進していくために、一般社団法人みうら学・海洋教育研究所を設立しまして、日本財団から助成金を受けこれから事業を展開していくことになります。次に文化スポーツ課は郷土芸能等伝承振興事業ですが、これはチャッキラコ三崎昭和館で開催されます諸事業の委託事業であります。青少年教育課の事業では青少年姉妹都市国際交流事業について今年度の事業計画を市長に説明をしております。

以上、私からの報告とさせていただきます。ご質問等がありましたらお願いいたします。

**○三壁教育長** よろしいですか、なければ、教育長報告を終了いたします。

それでは、次第5「報告事項」に入りたいと思います。

(1)市内中学校の生徒指導案件について報告をお願いします。

**○五十嵐学校教育課長** 三崎中学校にて発生いたしました件について概要を報告いたします。

4月21日木曜日、朝8時すぎに3年生の教室で男子生徒が持ち込んだ鉈等で自傷し、教室等のガラスを3枚割る案件が発生しました。男子生徒は腕をけがしており、保健室で応急手当てを受けた後病院で治療しましたところ深めの切り傷もありましたが命に別状はありません。学校は救急及び警察に連絡しましたが、当該生徒は治療後、警察で調べを受けたということになります。

また、他の生徒や職員にも怪我はありませんでした。現場検証がされるということで3年生全員を体育館に移動させ、その後下校という措置をとりました。さらに1、2年生については給食後に下校という措置をしております。生徒が下校した後、緊急の職員会議で対応を打ち合わせ、22日に全校朝会を実施、午後7時から緊急全校保護者会を実施しました。状況の説明、今後の対応についての説明をいたしております。

現時点で原因は特定できておりません。

今週の25、26日 神奈川県教育委員会のサポートを活用しまして、今回の出来事を目の当たりにした生徒もおりますのでショックやストレスを抱えている生徒に対しスクールカウンセラーによるカウンセリング等、こころのケアを中心に対応を進めているところです。

今後、家庭や関係機関とも連携しながら3年生男子に対する対応、それから心のケアが必要となる生徒への対応を進めながら一日も早く落ち着いた学校生活に戻すよう現在学校は全力で取り組んでおり、市の教育委員会も支援しているところです。

以上で報告を終わります。

**○三壁教育長** 4月の定例会で分かっている範囲で、報告の必要があるので課長からお伝えさ

せたわけですが、質問等ございますか。

○菊池教育長職務代理 対象の生徒について、現在は自宅にいるのですか。

○五十嵐学校教育課長 現在のところ警察で取り調べを受けている段階です。

○松尾委員 1、2年生の時はどのような生徒だったのでしょうか。

○五十嵐学校教育課長 学校の教員が感じていたのは、どちらかというと、おとなしめの生徒であった印象だと学校から聞いております。

○曾根委員 子どもたちからの情報の拡散ということが考えられますので、今後の心のケアをお願いします。

○三壁教育長 他によろしいですか、無ければ、次に(2)平成28年3月の後援名義等使用について、報告をお願いします。

○増井教育総務課長 平成28年3月の後援名義等使用についてご報告いたします。

平成28年3月分につきましては、文化スポーツ課関係で11件の申請があり、すでに承認をしているものです。内容等で、ご質問等があれば担当課よりご説明しますのでよろしくお願いします。

○三壁教育長 説明は終わりました、質問等ございますか。

○三壁教育長 それでは私から一つ、一覧表のNo.5、6、7、8について、横須賀市陸上競技協会が後援名義等申請しており、三浦市教育委員会が後援していますが、三浦市在住、又は通学している者が大会に参加できるのか伺います。

○堀越文化スポーツ課長 大会要項等確認しておりますが三浦市在住者等が大会に参加できるものとなっております。

○菊池教育長職務代理者 No.9のカニ観察会、No.10の自然観察ハイキングについて、広報はどのようにされているか分かりますか。

○堀越文化スポーツ課長 申し訳ありませんが確認をさせて下さい。

○下里委員 No.4について、どのような大会でしょうか。

○堀越文化スポーツ課長 No.4のFineプレミアCupにつきましてはソフトバレーボール競技でございます。

○三壁教育長      よろしいですか、なければ、次に(3)平成 28 年度奨学事業について、報告をお願いします。

○増井教育総務課長      平成 28 年度奨学事業について報告いたします。

今年度の奨学生については 3 月中に 3 名の奨学生を募集し 4 名の出願がありました。

学業成績、人物評価、家計状況による選考を行った結果、名簿No.5 から 7 の 3 名について新たに奨学生として選考しました。これにより在学中の奨学生を含め 7 名に貸付を行います。

報告は以上です。

○三壁教育長      報告は終わりました、質問等ございますか。

○三壁教育長      よろしいですか、なければ、次に(4)三浦市教育研究所非常勤相談員の委嘱について、報告をお願いします。

○五十嵐学校教育課長      三浦市教育研究所非常勤相談員の委嘱についてご報告いたします。氏名は、佐藤 悠、任用期間、勤務日、勤務時間、報酬等につきましては資料のとおりであります。職務についてですが、主に教育に係る調査研究、教育内容の改善等に従事します。佐藤 悠については、平成 27 年度に東京大学三崎臨海実験所の職員として学校教育課に在籍しておりました。海洋教育並びにコンピューターによる I C Tを活用した教育活動に長けており、今年度非常勤相談員として委嘱をしたものであります。

以上で報告を終わります。

○三壁教育長      報告は終わりました、ご質問等ございますか。

なければ、次に(5)三浦市立学校外国語指導助手の委嘱について、報告をお願いします。

○五十嵐学校教育課長      三浦市立学校外国語指導助手の委嘱についてご報告します。

こちらは小学校の外国語活動のアシスタントでありまして A L T となります。氏名はフジカワ レオナリー マルバス、横須賀市在住でアメリカ国籍の方です。

この方につきましては、横須賀市、県立高等学校等で A L T の経験があり、非常に指導技術が高いということで推薦をいただきました。

また、外国での指導経験も豊富であり、エジプト、ドバイ、マレーシア等で教育活動に従事しており、現在、南下浦小学校、剣崎小学校にて教育活動に入っており学校での評判も良いと聞いております。

以上で報告を終わります。

○三壁教育長      報告は終わりました、質問等ございますか。

○松尾委員      この方は前年度までの方と入れ替わりですか。

○五十嵐学校教育課長 前任の方と入れ替わりです。

○下里委員 非常勤相談員と外国語指導助手については、男性ですか、女性ですか。

○五十嵐学校教育課長 非常勤相談員は男性、外国語指導助手は女性です。

○松尾委員 非常勤相談員の方は年間 40 日の勤務ですが、勤務日はどのようになっていますか。

○五十嵐学校教育課長 I C T の活用というところで、年度始と年度終わりに勤務が多くなります。

○三壁教育長 ここで先ほど菊池職務代理が後援名義等承認の関係で質問された広報等について答弁があります。

○堀越文化スポーツ課長 申請者であります、観音崎自然博物館のホームページ、新聞、フリーペーパーによって広報されています。

○三壁教育長 次に(6)三浦市社会教育委員充て職委員の決定について、報告をお願いします。

○堀越文化スポーツ課長 三浦市社会教育委員充て職委員の決定について、報告いたします。  
名簿No.6、三浦市 P T A 連絡協議会副会長の立川悦子委員、名簿No.7、三浦市校長会より推薦の南下浦小学校校長毛利祐司委員の 2 名について決定されました。  
以上で報告を終わります。

○三壁教育長 報告は終わりました、質問等ございますか。

○松尾委員 校長会からの推薦で毛利先生が入っておりますが任期はいつまででしょうか。

○堀越文化スポーツ課長 任期につきましては、平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までとなっております。なお、任期中に人事異動等あれば変更となります。

○三壁教育長 次に(7)三浦市スポーツ推進審議会委員充て職委員の決定について、報告をお願いします。

○堀越文化スポーツ課長 三浦市スポーツ推進審議会委員充て職委員の決定について、報告いたします。

名簿No.6、中学校体育連盟会長であり南下浦中学校校長の稲生昭博委員、名簿No.7、小学校校長会からの推薦で岬陽小学校校長の山田真也委員、名簿No.8、保健福祉部長の中嶋謙一委員、以上 3 名について決定されました。

○三壁教育長 説明は終わりました、質問等ございますか。

○三壁教育長 次に、次第6「その他の事業について」に入りたいと思います。

(1)平成28年度事業計画について、教育総務課から順番に説明をお願いします。

○増井教育総務課長 まず、はじめに、教育委員会全体の予算規模について、教育総務課からご説明いたします。

職員人件費を含む平成28年度予算額は、726,801,000円であります。建設事業や大規模修繕が終了いたしましたので、平成27年度と比べますと約3億円の減額となっております。

引き続き、平成28年度教育総務課主管事業についてご説明いたします。

資料の8ページ資料7をご覧ください。

教育総務課は、私以下、グループリーダー1名、主査1名、主任1名、臨時職員2名の体制で事業を実施しています。そのほか、現在育児休業中の主事1名が配置されております。

資料掲載の各事業のうち特徴的な事業等について抜粋してご説明いたします。

番号3番の小学校教育環境適正化事業は、小学校の適正規模・配置を検討するための新規事業であります。28年度は、アンケートを実施し、その後、有識者等の参考意見をお聞きする懇談会を開催いたします。本委員会にも、その内容等をご報告する予定であります。

次に番号4番の奨学事業ですが、既存の貸付けを実施するほか、29年度から新たな奨学金制度を開始する計画を持っており、28年度中に検討し、規程を整備いたします。

番号6番教育振興小・中学校管理運営事業と番号7番の小・中学校義務教育施設維持管理事業については、大きく予算が減額しておりますが、これは、旧三崎中学校を学校施設として利用しなくなったために不要となる予算があったことや細かな節約の積み上げ等によるものであります。

最後に、事業番号8番の小・中学校施設整備事業ですが、28年度は、南下浦小学校の屋根改修工事を行います。27年度には、三崎中学校体育館・武道場の建設工事を事業化していたため予算上は大きな減額となっております。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました、これは、課ごとに質問をいただき、全て終わったところで改めて質問をいただくことにしたいと思います。

○菊池教育長職務代理 小学校教育環境適正化事業について、アンケートの実施は市内全体か若しくは学校を特定して行うのかどちらですか。

○増井教育総務課長 現在考えている案では小学校の教員、保護者であり、児童を対象とするか検討中であります。

○松尾委員 奨学事業について、新たな奨学生制度の創設とありますが、現在ある、市の奨学事業や寺本育英会で行っている奨学金の制度がありますが、これらを一本化するのか、若しくは別の制度として考えているのか現在のイメージがあれば教えてください。

○増井教育総務課長 寺本育英会については従来どおり実施していきます。市の奨学事業とは教育長からの報告でもありました通り、先週行われた市長ヒアリングの際に一本化を検討してはどうか、という話も出ましたので、そのことを念頭に検討を進めて行こうと考えております。

○曾根委員 奨学事業についてですが、奨学金の返還は卒業後だと思いますが、現在、奨学金については全国的に問題になっておりまして、大学を卒業してマイナスからのスタートになるということです。バックアップしていただくことは非常によいことですが、制度設計される際には慎重に進めてほしいと思います。

また、奨学金を受けた方が学校を卒業し、その後どのようにされているか分かりましたら教えていただきたいのですが。

○増井教育総務課長 奨学金を受けた学生のその後という事ですが、全ての方を把握している訳ではありませんが、事業の目標として卒業後には上位の学校へ進む、若しくは就職をされる。以上のことを事業目標としているところです。

○松尾委員 卒業後にマイナスからのスタートということで、返したいが返せない方がいる。このことは国も問題視していて具体的にどういうイメージを持って描けるか模索しています。先ほど一本化も考えているということですが返還することを前提にしたイメージを私たちは持っていますが、返さない奨学金の制度もありうるのではないかと考えていますので、十分に論議を重ねて三浦らしい奨学金制度が出来れば良いと思っています。

○増井教育総務課長 現在の奨学金制度については貸与ですが、いろいろな形があると思っています。全額給付、一部給付、現在の制度も含めて幅広く検討した上で新たな制度が踏み出せればと考えております。

○三壁教育長 他になれば、続いて、学校教育課お願いします。

○五十嵐学校教育課長 学校教育主管事業の主なものについてご説明します。

まず、障害児教育事業について、予算が昨年度より増となっております。こちらは平成 27 年度まで特別支援学級での介助員の配置が 10 名だったものを平成 28 年度は 13 名体制で実施します。このことによって予算の増となっています。

続きまして、小中学校教材教具整備事業についてです。こちらは小学校並びに中学校の教科書採択に関わり教科書の切替がありました。このことによって教員用の教科書の指導書を平成 27 年度当初予算で小学校用、平成 27 年度補正予算で中学校用を購入いたしましたが、平成 28 年度はございませんので昨年度より予算が減となっております。

次に小中学校就学援助事業についてです。平成 27 年度は生活保護基準の 1.1 倍でありました。平成 28 年度は 1.2 倍と拡充したわけですが、児童生徒数が減少しており予算が減となっています。

続いて海洋教育等地域教材開発事業について、平成 28 年度予算は 1,000 円となっております

が、平成 28 年 3 月 8 日に一般社団法人みうら学・海洋教育研究所を設立しました。こちらに日本財団から 32,000,000 円の助成を受けることが決定しております。市の組織とは別に一般社団法人を設立して三浦市教育委員会と連携して海洋教育を推進していくことになっております。

一般社団法人みうら学・海洋教育研究所につきましては、事務局に事務局長をはじめ 3 名を配置し事業を推進していきます。日本財団からの助成は人件費や磯観察の際に使用する安全救命用具、海に関する学習を進めるための教材開発、それから、海洋教育に関する副読本の印刷製本費等計上しており、予算を有効に活用し三浦らしい教育の推進に努めてまいりたいと考えております。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 一般社団法人の事務局職員等の話は出来ますか。

○五十嵐学校教育課長 現在確定しているところでは、事務局長に元初声中学校校長の渋谷氏に就任していただくことになっております。理事については、代表理事に杉山実副市長、三壁伸雄教育長、赤坂甲治東大三崎臨海実験所所長、鈴木悠太海洋アライアンス海洋教育促進研究センター特任講師の 4 名が理事として業務にあたっていただくことになっております。

○三壁教育長 先ほどの渋谷事務局長以下、事務局の執務場所はどこですか。

○五十嵐学校教育課長 学校教育課の指導主事のならびに机を 3 つ配置しており、そちらで執務していただくことになっております。

○三壁教育長 その他にありますか。

○松尾委員 相談指導教室事業についてですが、不登校児童生徒の人数と担当教諭を教えてください。

○五十嵐学校教育課長 現在お示しできる数値は平成 27 年度の相談指導教室に通室している児童生徒数ですが、小学生が男子 3 名、女子 2 名、中学生が男子 1 名、女子 1 名の合計 7 名であります。また、担当教諭は初声中学校に在籍しています村上健教諭が兼任しております。

○三壁教育長 なければ、続いて、学校給食課をお願いします。

○松下学校給食課長 学校給食課主管事業につきまして説明させていただきます。

11 ページ 資料 9 をご覧ください。職員の体制は、事務が課長及び主任の計 2 名、施設管理（ボイラー）1 名、県費栄養士 3 名、臨時職員 1 名の計 7 名体制です。

学校給食事業として、昨年度と同じ年間 183 日実施予定です。予定食数は 1 日あたり小学校児童分が 1,850 食、中学校生徒分が 1,050 食、合計 2,900 食です。近隣市町では未実施のところが多い中学校給食を引き続いて実施し、義務教育課程での完全給食実施体制を維持します。

昨年度は、まぐろラーメンアレンジメニューの定番化を図るとともに、春キャベツやカジキ

まぐろを使用した新メニューを開発し、提供させていただきました。

今後も自然環境に恵まれた三浦市の特性を生かし、地元の新鮮でおいしい食材の活用に努め、児童生徒の健全育成に寄与するよう地産地消の学校給食づくりに取り組んでまいります。

○三壁教育長 説明は終わりました、質問等ございますか。

○三壁教育長 なければ、続いて、文化スポーツ課をお願いします。

○堀越文化スポーツ課長 文化スポーツ課の主管事業計画について説明させていただきます。

文化スポーツ課は文化グループとスポーツグループふたつのグループにより構成されています。文化グループはグループリーダー以下非常勤職員を含めて5名、スポーツグループはグループリーダー以下非常勤職員を含めて3名となっており、私を含めると合計9人という体制で事務を執行しています。

執務場所は、文化グループが旧三崎中学校、スポーツグループが潮風アリーナです。

なお、スポーツグループは、本年7月より、旧三崎中学校に移転する予定です。

それでは、初めに、文化グループの事業計画について説明させていただきます。

議案資料12ページから13ページ、資料No.10をご覧ください。

予算の構成上は12ページの「1の社会教育・市民ホール」では、No.1番からNo.6とNo.8が社会教育総務費で、No.7番が市民ホール費になります。13ページの「2の文化財保護」については文化財保護費になります。

まず、社会教育総務費では、平成27年度と比較をして金額の増減は多少ありますが、新規事業や廃止をした事業はありません。三浦市文化祭事業、白秋記念館管理運営事業、社会教育委員事業など執行をしていきたいと考えています。

市民ホール費では、平成26年度から平成29年度にかけての4年間を三浦海業公社に指定管理者契約を結んでおりますので、その指定管理料です。

次に文化財保護費ですが、平成27年度と比較して金額の多少の増減はありますが、新規事業や廃止をした事業はありません。予算上の事業である記載の6事業を執行していきます。

つづきまして、スポーツグループの事業計画につきまして議案資料14ページから15ページを使用しましてご説明させていただきます。

予算の構成につきましては、保健体育総務費に区分される事業と体育施設費に区分される事業がございます。

保健体育総務費には、スポーツレクリエーション参加機会拡充事業とスポーツ施設整備・供用事業があります。

初めに、スポーツレクリエーション参加機会拡充事業ですが、「市民スポーツ大会」や「城ヶ島駅伝競走大会」をはじめとして、後ほどお話しをさせていただく「わんぱく相撲」等があります。

また、スポーツグループは三浦市体育協会の事務局を務めておりますが、No.8の地域スポーツ振興事業として各種目協会による総合体育大会にも関わっていきます。その他、スポーツ推進審議会事業、スポーツ推進委員事業等があります。

議案資料で言いますと、14ページから15ページにまたがるNo.1からNo.10までの事業がスポ

ーツレクレーション参加機会拡充事業となります。

また、スポーツ施設整備・供用事業ですが、学校体育施設開放事業として、グラウンド、体育館、プールの開放を行っています。資料で言いますと、議案資料 15 ページのNo.11 がスポーツ施設整備・供用事業となります。

次に、体育施設費事業です。これは指定管理制度を導入している体育施設の運営管理に必要な事業になります。予算上、文化スポーツ課で所管する体育施設は、指定管理者制度で管理運営を行っている三浦市総合体育館と三浦市水泳プールになります。

雑駁ではございますが、以上で文化スポーツ課の主管事業計画の説明を終わります。

○三壁教育長      説明は終わりました、質問等ございますか。

○菊池教育長職務代理      白秋記念館管理運営事業について、昨年度より予算が増えておりますがどのような理由でしょうか。

○堀越文化スポーツ課長      こちらは職員賃金の増加でございます。

○菊池教育長職務代理      年々予算が減ってきている中で職員の方が一生懸命にやっっているのが分かりますので、今後もよろしくお願いします。

○三壁教育長      なければ、続いて、南下浦市民センターお願いします。

○小川南下浦市民センター館長      職員体制ですが、館長の私と図書館兼務の主査 1 名、主任 1 名、社会教育指導員 1 名の 4 名であります。

なお、職員の勤務日でない日曜、祝日の日中は委託職員 1 名が対応しており、勤務時間外については、鍵の開閉も含めて常駐の管理人で対応をしております。

続いて南下浦市民センターの事業計画の説明をさせていただきます。資料No.11、16 頁をご覧ください。南下浦市民センターは 8 事業ある中、1～5 は社会教育講座事業であり、予算は文化スポーツ課が担当しておりますが、実施している担当は南下浦市民センターですので説明させていただきます。その中で 4 の社会教育講座の中で新規に自然観察、韓国語講座と着付け教室を加え開催する計画です。

社会教育指導員事業、公民館フェスティバル事業、南下浦市民センター維持管理事業で、大きな変動はありません。

○三壁教育長      説明は終わりました、質問等ございますか。

○三壁教育長      なければ、続いて、初声市民センターお願いします。

○見上初声市民センター館長      17 ページの資料 12 の初声市民センター主管事業について説明いたします。

職員は、館長の私と、図書館と兼務の主査 1 名、シニアスタッフ 1 名、社会教育指導員 1 名

の計4名です。

今年度実施する事業は、前年と同じ5つの事業です。社会教育講座事業では、親子を対象とし主に夏休みの期間に実施するNo.1の児童期家庭教育学級5講座と、少年少女や成人男女を対象としたNo.2の社会教育講座13講座、併せて18講座を実施します。どちらも平成25年度から文化スポーツ課で予算措置をして、初声市民センターで執行しています。

No.4の初声市民センターまつりは10月15日から23日までの9日間の予定しており、地域住民の交流を図ります。

No.5の初声市民センター維持管理事業では、施設の維持管理のための法定点検等の委託料、光熱水費、夜間・祝祭日に勤務する非常勤職員賃金等を計上しております。

前年より約100万円予算額の減については、非常勤職員の勤務時間の短縮による賃金の減、平成27年度は消火栓ポンプ関連の修繕を行ったこと、入札により夜間機械警備業務委託料での減が主な理由であります。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長      説明は終わりました、質問等ございますか。

○菊池教育長職務代理      初声市民センターでは平成28年度に新しい事業はありますか。

○見上初声市民センター館長      社会教育講座の中で平成27年度に定員に達しなかった講座の見直しを図り、平成28年度に新規講座を実施する予定です。

○三壁教育長      なければ、続いて、青少年教育課と図書館を併せてお願いします。

○安藤青少年教育課兼図書館長      本年度の青少年教育課は、課長以下、主査1名、課員1名、臨時職員1名の計4名の体制で業務を実施しています。

青少年教育課全体の事業費は昨年度に比べ約400万円の減となっていますが、これは青少年会館の廃止による維持管理事業約850万円の減及び児童館廃止事業の解体工事費約500万円の増の差し引きによるものです。

それでは、平成28年度青少年教育課主管事業のうち主要事業について説明します。

資料18、19ページの資料ナンバー13をご覧ください。

まず、青少年教育費 番号1の姉妹都市交流事業です。今年度は7月27日から29日の3日間、長野県須坂市からの小中学生20名の受入れを行い、8月5日から7日の3日間には林間学校として三浦市から須坂市へ市内小中学生20名の派遣の実施を計画しています。

次に番号2の青少年姉妹都市国際交流事業です。三浦市からの青少年派遣事業については、今年度は8月4日から19日までの16日間、市内在住の中学生、高校生を対象に計10名を派遣する予定です。また、今年度のウォーナンブルからの受入れ事業については、現在、派遣元と調整中ですが、6月下旬から7月上旬に5名程度を受け入れる見通しとなっています。

次に番号4の子どもの船事業では、神奈川県立海洋科学高校に協力いただき、今年度は8月3日に実習船湘南丸船内見学や体験航海、海洋観測等の体験学習を、市内小中学生35名を対象に実施します。

続いて 19 ページの青少年育成施設費です。番号 3 番の児童館廃止事業では、平成 25 年度末に廃止した旧大乘児童会館の解体工事を実施します。また旧東岡、和田児童会館の解体工事スケジュールについて、地元自治会と調整を行います。

青少年教育課の主要事業の説明は以上です。

続いて図書館の主要事業の説明をさせていただきます。まず職員の体制ですが、館長以下、本館は、主査 1 名、シニアスタッフ 2 名で、南下浦分館、初声分館は臨時職員それぞれ 4 名の計 12 名の体制で業務を実施しています。

それでは、平成 28 年度の図書館主管事業について説明します。

資料 20 ページの資料ナンバー14 をご覧ください。今年度の図書館事業では、昨年度までの 4 つに区分されていた事業を、「特色ある文庫づくり事業」を統合した「図書収集整理閲覧事業」と、「図書館情報ネットワーク事業」と「図書のデータベース化事業」を統合した「図書館管理運営事業」の 2 つの事業区分で図書館の管理運営を行います。

図書館本館については、今年 2 月の移転後、館内の空間を広くとれるようになったことを活かして、本に興味を持つきっかけとなるような取組みを行い、市民に親しみやすい図書館を目指していきたいと考えております。

本年度の図書館事業の説明は以上です。

○三壁教育長      説明は終わりました、質問等ございますか。

○曾根委員      子ども会活動促進事業についてですが昨年度と比べて予算が減っているということとは子どもの数が減ってきていることと関係しているのでしょうか。

○安藤青少年教育課長      子どもが減ってきているということもあり、地区ごとにある子ども会の団体数が減っていることが大きな理由となります。

○曾根委員      図書館について、職員 12 名体制ということですが、この中に図書館司書の方はいらっしゃるでしょうか。

○安藤図書館長      司書として雇用している者はおりませんが、南下浦分館で事務職として雇用している臨時職員に司書の資格を持つ者が 1 名おります。

○三壁教育長      子ども会の団体数が 28 団体であるが、総数は分かりますか。

○安藤青少年教育課長      まだ、人数の報告が提出されていない子ども会もありますので集計できておりません。

○三壁教育長      平成 25 年度は 48 団体、今年度は 28 団体、そして小学校の児童数が約 1,700 人、恐らく子ども会の総数は 1,000 人以上いるのではないかと思います。1,000 人を超える組織は三浦市ではあまりないのではないかと思います。なので担当として子ども会連絡協議会と常

にコミュニケーションを取って充実させていくことが大事なことだと思います。

○下里委員　子ども会の団体数が数年前は 48 団体、現在は 28 団体になっている現状で、以前は児童公園の草刈を子ども会で実施していた。それが今は草刈が出来ていない現状があるのですが、このことについて子ども会が行っていたことを変わって行うようなことをどちらかで考えられているのでしょうか。

○大西教育部長　市立の公園につきましては、都市環境部土木課で管理をしています。以前は業者に委託をしておりましたが、現在は予算的に厳しくなっており、区にお願いしている部分もありますが、全ての公園ということでは行き届かないこともあるかと思います。

○三壁教育長　特定が出来れば対応も可能になるかと思いますが。

○三壁教育長　すべての課の説明が終わりましたので改めてご質問があればお願いいたします。

○松尾委員　平成 27 年度においては学校施設ということで三崎中学校体育館の建設というハード面の整備がありました。平成 28 年度については特になく、平成 29 年度はどのようなか分かりませんが、これからはソフト面に、例えば学校美化など細かなところにも目を向けて取り組んでいただければと思います。

○増井教育総務課長　学校からも修繕ですとかいろいろなご意見をいただいているところです。決してこのままで良いと思っはおりませんので、予算がない中ではありますが学校と協力して少しでもよい環境を作りたいと考えております。

○菊池教育長職務代理　姉妹都市交流事業について、昨年度より予算が減しておりますがどのような理由でしょうか。

○安藤青少年教育課長　平成 26 年度までは 40 人規模の交流事業でありました。昨年度事業の実施にあたり須坂市から半分程度、20 人程度にしたいとの提案がありましたことを受けて三浦市でも 20 人程度の募集人数にしましたのでバスの借上げにかかる費用の減等により昨年度より予算が減しております。

○三壁教育長　なければ、続いて、(2)第 19 回わんぱく相撲三浦場所の開催について、説明をお願いします。

○堀越文化スポーツ課長　第 19 回わんぱく相撲三浦場所の開催について説明いたします。

三浦青年会議所、三浦相撲連盟、三浦市教育委員会の 3 者で実行委員会を組織し主催している事業であります。開催日及び場所は 5 月 8 日（日）、若宮相撲場を予定しております。

雨天の場合は場所が初声小学校体育館での実施となります。

また、本大会では三浦青年会議所より地産地消によるちゃんこ鍋が振舞われることになって

おります。競技につきましては、小学生の部では個人戦が1年生から6年生の男子、女子は1年生から3年生となっています。団体戦については低学年の部が1年生から3年生、高学年の部が4年生から6年生となっております。なお、本大会で4年生から6年生の個人戦優勝者は7月31日に両国国技館で開催される第32回わんぱく相撲全国大会に三浦市代表として出場することができます。

現在の参加申し込み状況ですが、個人戦が173名、団体戦は39団体となっており、昨年より個人戦、団体戦とも多く申込がされております。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました、質問等ございますか。

○三壁教育長 教育委員さんにもご案内がされていますので、ご都合つけば観覧していただきたいと思います。

○三壁教育長 なければ、続いて、(3)三浦市社会教育講座「文学講座」の開催について、説明をお願いします。

○小川南下浦市民センター館長 南下浦市民センターから社会教育講座の開催について説明申し上げます。

23頁、資料№16になります。

近代文学に表現された三浦の各地を目にして、郷土の発見と愛着の心を育むことを目的「文学に表現された三浦の地を巡る」文学講座を5月22日（日）に実施します。

講師にあっては、みうら観光ボランティア協会会長の田中健介氏であり、9時30分に南下浦市民センターに集合し、市内の文学ゆかりの場所を講義を受けながら市のマイクロバスで昼を跨ぎ、15時まで廻ります。

定数にあってはバスの関係で20人としています。

○三壁教育長 説明は終わりました、質問等ございますか。

○曾根委員 お弁当持参になっていますが、どちらで昼食をいただくことになりますか。

○小川南下浦市民センター館長 城ヶ島の白秋記念館の脇、城ヶ島大橋の下になりますが、そちらを予定しております。

○三壁教育長 なければ、続いて、(4)平成27年度三浦市社会教育講座について南下浦、初声市民センターの順に説明をお願いします。

○小川南下浦市民センター館長 A3サイズの24頁、資料№17をご覧いただきたいと思えます。

大きく分けて5つの社会教育講座を開催しましたが、その内一般向けの講座を8つ実施した

結果をまとめ、内容等を特記事項に記載してあります。

(別紙カラー刷り) アンケート結果と並行してご覧ください。

講座の開催は広報紙「三浦市民」で情報を得ている方が半数を占め、感想にあつては、概ね「満足」と評価をもらっておりますが、その中で数人の児童から欄外に「チョー楽しかった」との記載もありました。

参加の回数にあつては、初めての参加と2回～5回目の参加が8割を占めていることが解りました。

今後も時のニーズに対応できるよう企画したいと考えています。

以上で説明を終わります。

**○見上初声市民センター館長** 25ページの資料18をご覧ください。平成27年度に初声市民センターで行った社会教育講座について報告いたします。

小学生とその親を対象とした児童期家庭教育学級は予定どおり5講座を開催しましたが、「水産技術センターの親子施設見学会」は、夏休み期間中は見学ができないとのことで、午前中に授業があった日の午後に実施したため参加者が少なく、また、「光る泥団子作り」は、他でも実施しているためこちらも参加者が少ない結果となりました。

社会教育講座では年度当初13講座を予定していましたが、料理教室に関する要望が強くあったため「春のおもてなし料理」を1つ加え、14講座を開催しました。「親子やきもの教室」の開催日は三浦海岸の行事と重なってしまったためか、参加者が少ない結果となりました。

また、年度初めに実施した「端午の節句飾り」と「斜めがけエコバッグ作り」は先着順で参加者を募りましたが、他の講座は定員を超えた場合は抽選にしました。募集定員を超える講座はいくつかありましたが、その都度講師と相談し抽選をすることなく参加希望者全員を受け入れました。

また、昨年度から、講座終了後にアンケートを取っております。「講座を何で知りましたか」という問いでは、広報紙「三浦市民」が多く、「その他」の中には、小学校を通じての配布物によるものが多くありました。

講座に関する感想では、どの講座も満足度が非常に高い結果となりました。

これまで講座に参加した回数は、初めて参加された方が約3分の1、リピーターが約3分の2という結果になりました。

今後も引続きアンケートを実施し、参加者のニーズ把握をするとともに、講座の内容について検討してまいります。

以上で説明を終わります。

**○三壁教育長** 説明は終わりました、質問等ございますか。

**○三壁教育長** 他になれば、次第7「その他」に入りたいと思います。

委員の皆様から何かありますか。

**○松尾委員** 先日、熊本の震災がありました。この報道を見て以前教育委員に対して災害に関

する冊子をいただきました。危機管理課、学校教育課で作ったもので教育委員会全体で努力する点をまとめたものだとは認識していますが、今、熊本では学校に避難所を設置することが多くなっており、学校を再開できない状況にも陥っていると聞いています。そのような中で以前に三浦市では学校が避難場所になっている関係で避難所運営委員会を立ち上げて何回か区の方と話し合いの場を設けていると記憶しています。災害が起きてから時間が経てくると具体的な動きが分からなくなってきました。そこで現在も運営委員会が開かれているのかということと、もう一つは教員が災害のために勤務地である学校に来れない場合どうするのかという話を以前した記憶があります。教育委員会で教職員の災害時における勤務対応について協議がされているのか。3点目は、学校が避難場所となったときに、東日本大震災の際にスムーズに行われた場所と、なかなかうまくいかなかった場所があったと聞いており、その後、反省点を含めて危機管理課と協議をされているのかいないのか、以上3点をお聞きしたい。

○三壁教育長 東日本大震災以降、問題意識を持って業務にあたっていますが、幸い熊本では津波が起きていませんが、三浦では海拔2m程度の学校がありますので学校内部で、あるいは地域でも教育委員会関係で関わりがあるもので答弁できることはありますか。

○五十嵐学校教育課長 三浦半島地区の横須賀、逗子、葉山、三浦でそのような情報交換の場は現在まだなされていないところです。

全県で学校が避難所になるケースがここ数年で何度かありました。地震ではなく風水害が多いと記憶していますが、その時に神奈川県から教職員の服務について通知が出されており情報の共有はされています。

現在のところ学校が避難所になった場合に三浦市で以前出された「市内の学校防災について」からは新たなものは出来ていない状況です。

○三壁教育長 先ほどの松尾委員の質問に対してお答えできていない部分については教育委員会以外に関わることもありますので今後教育委員会として動いていきます。

○三壁教育長 青少年会館が閉館され、城山体育館が解体されました。東日本大震災の時に青少年会館に80人程度避難された方がいました。旧三中にも避難された方がいました。当時は先生達もいたが今東日本大震災のような災害が起こったときは誰が指揮をするのかということもあると思います。

○大西教育部長 東日本大震災のときは急なこともあり学校の先生の協力も得て避難所運営にあたりました。その時の教訓を市長が受けまして、現在は避難場所につきまして市職員が各避難場所に割り当てられているルールが出来ております。そのことから、年に数回、避難所運営班による避難所運営の対応研修を実施しています。

○松尾委員 そうしますと現在は、三崎地区の避難場所には職員の誰々が行くというように決まっているということですか。

○大西教育部長 職員の住所については、総務部が把握しております。

避難所の運営につきましては、現在税務課が担当をし、職員の割当が定められています。

○三壁教育長 他にございますか。

(発言等なし)

○三壁教育長 その他にないようでしたら、これをもちまして、平成 28 年第 4 回三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

---

◇ 午後 4 時 58 分 閉会 ◇

---